

設立趣意書

もう一つのメディアビジネス創出委員会

2010年3月13日

● 設立趣意

苦境に立たされる新聞・雑誌を中心とした活字媒体について、生き残るための新しいビジネスモデルやアイデアを創出する。

- ① どうすれば必要とされるメディアでいられるか？
- ② どうすれば利益を生み出し、情報発信を持続していけるか？
- ③ どうすれば作り手に対価を支払い、働きたいと思われるメディアになれるか？

それらを考えるには、webや携帯端末、電子書籍といった新しいツールを避けては通れない。読者は無料で価値のある情報を欲するが、作り手は何らかの方法で利益を生み出していかねば生き残れない。ブログやツイッターなどで誰もが情報発信できる時代の流れは加速している。しかし、紙媒体もいまだないがしろにできないのが現状だ。時代の潮流に抗うのではなく、その流れの中で生き抜くための方法を探りたい。

既存のメディアも様々な動きを見せている。しかし、従来の会社の思考によらない、自由闊達で将来性のある議論があってもいい。そこから既存概念を打ち破る何か生まれるものと信じている。それを「もう一つ」の動きととらえ、ここに新たなメディアビジネスを創出する委員会（任意団体）を設立する。

この志を旗印に、多くの同志に参加を求め、その輪の中から、実現性あるメディアを作り出したい。

● キャッチコピー

「もはや誰でも発信できる時代、文章は利益を生み出すことができるのか？」

● 参加対象者

メディアの作り手の立場になって議論ができる人、また新しいメディアに関心のある人。既存のメディアに属していても、いなくても関係なし。

● 主な活動内容

- ・ 同志の輪を広げる。
- ・ 勉強会、意見交換会を定期的に行う。
- ・ 議論したことを実行して、形あるものを作る。

発起人 杉村 健
市川 真也